



しっかり、準備体操。



練習開始！



爽やかに汗をかきました。

落合公民館のラージボール卓球教室は、月、火、土曜日の週3回、落合中学校体育館で開催しています。教室は平成21年10月に、13名で始まりましたが、現在は32名にまで増えています。ラージボール卓球は、卓球の玉(40mm)より大きなオレンジ色の玉(44mm)を使います。これにより、ボールの速度が抑えられ、高齢者の方でも楽しくラリーができるそうです。

取材に伺ったときには、60、80代の16名が参加していました。教室の代表である苗木正さん(文挾町)にお聞きしました。

Q ラージボール卓球の魅力を教えてください。

A 高齢者でも、楽しく汗をかけるところです。ラージボール

卓球を続けて、体重も内臓脂肪も落ちました。ラージボール卓球は健康に最適で、私の生きがいになっています。

Q 今後の目標は何か。

A 震災で公民館が使用できなくなり困っていました。落合中学校に体育館を貸していただき、教室を続けることができます。本当に感謝しています。今後は中学生の皆さんと交流を深め、一緒に卓球をしたいと思っています。

教室の皆さんは、若々しい笑顔と、軽快な身のこなしで、オレンジのボールを夢中で打ち合っていました。

③ ラージボール卓球教室(落合公民館)

参加者の声でつなぐ

公民館の教室・講座紹介

小杉放菴記念日光美術館

〒321-1431 日光市山内 2388-3 TEL: 50-1200
ホームページ <http://www.khmoan.jp/>

KOSUGI HOAN
MUSEUM OF ART,
NIKKO

市民割引券

(1枚につき、5名様まで有効)

小杉放菴記念日光美術館

切り取ってご利用ください

親子で楽しむワークショップ 「生まれ変わる、よみがえるダンボール～ダンボールでつくる生きものたち」

夏休み特別企画展の関連事業として、企画展出品作家、玉田多紀氏によるワークショップを開催します。玉田氏は、ダンボール紙をレリーフ状に貼り合わせる技法で、巨大な動物をテーマにした作品を中心に制作しており、今回は玉田氏の作品を鑑賞した後に、ダンボールを使って、好きな生き物を作ります。私たちに身近なダンボールが生き物に生まれ変わる驚きを、親子でお楽しみください。



玉田氏の作品。



ワークショップの様子。

と き：7月23日(土) 午後1時～4時
講 師：玉田多紀氏(造形作家)
参 加 料：500円(飲み物付き) ※未就学児は無料です。
定 員：20名(先着順) ※主に親子対象ですがどなたでも参加できます。
参加方法：美術館へ電話で申し込む

❖夏休み特別企画「美術館は動物園―美術に表現された動物たち」
会 期：7月23日(土)～9月4日(日)
開館時間：午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)
入 館 料：一般…700(300)円、大学生…500(200)円、高校生以下…無料
※()内は市民割引券を利用した際の料金です。

KOSUGI HOAN
MUSEUM OF ART,
NIKKO

小杉放菴記念日光美術館

市民文芸

川 柳 選者 日野原元児

ふるさとの土は裸足が知っている
小曽根光秀
土地柄と言うが語尾まで喧嘩腰
斎藤雅裕
いい記事のある新聞のいい匂い
福田恒産

苛立ちのリズムを刻む指の先
手塚貴子
三世代父から入る風呂が沸く
大橋芳明
踏ん切りをつけて眩しい空の蒼
福田英子
星空に夢の欠けらを預けとく
田中 孝

俳 句 選者 須藤火珠男

手柄杓の真水旨しや閑古鳥
星野恒志
よく見えて今朝は嬉しい豆の飯
白土武夫

菖蒲湯の一葉を髪に若返る
鈴木キヌ子
子の遺影抱く母あり入園式
齋藤愛華
菖蒲湯の稚児の手足弾みけり
渡辺ミチ子
優しさやけだるく恋し合飲の花
池田三夫
風評の中でがんばるほうれん草
福田美代子

歴史民俗資料館通信

日光市中央町29-1(市図書館隣) ☎22-6217
開館時間 午前9時～午後6時(入館無料)
休館日 毎週月曜日、祝日



(※)でもあり、卵から生まれ、幼虫(蛹)成虫と著しく姿形を変えます。幼虫は雑木林の土中で腐葉土を食べて過ごし、蛹のときはほとんど動かず、餌も食べません。成虫は胸部が体の3分の2を占めるようになり(写真参照)、主に夜間、4枚の羽で飛び樹上で樹液を吸う生活を送ります。

カブトムシは、胸部に羽と脚を動かす筋肉がたくさん付いているので、自分の体重の10倍以上の物を軽々と引くことができます。また、頭部と前胸背面にある大小のツノは皮膚が変化したもので、両方のツノをうまく使って餌場のライバルである他の昆虫を攻撃したり投げたりします。

※甲虫：固い4枚の羽を持つ昆虫類最大の目。クワガタムシやカミキリムシ、ホタルなど多種。

❖催し❖

◆県立博物館移動講座「昆虫の多様な世界」(情報ナビ27ページ)
7月20日(水)午後1時30分～3時



カブトムシの裏側。

短 歌 選者 阿久津伸一

飼い主の思いや如何に人気なき原発
事故地さまよえる牛
根立郷美
億年の光保ちて星たちが棲み分けて
いる宇宙空間

癌と言う芽を摘みながら尚生きる曇るころに鞭打つも哀しき
名古屋佳子
早逝の母を凌いで喜寿迎う幸せ告げり墓碑の前にて
北崎 君
一芸を終へたるトドは餌を貰ひ己讃へる胸ひれを打つ
伊藤悦子

生命の歌を小さきコンサートにて歌う若者の心の叫び
白土武夫
鶯も本番なりと競い合い甲高き声に静けさやぶる
大森トミ子
植田義雄

作品を募集しています！

川柳・俳句・短歌を募集しています。氏名(ふりがな)、住所、電話番号を明記して、ご応募ください。
応募先及びくわしくは
秘書広報課 広報広聴係
☎(21)5135・FAX(21)5109